

はまちゃん新聞 8月

8月というと、夏真っ盛りのイメージですが8月7日に立秋を迎えることもあり、暦の上では秋が訪れる時期になります。とはいえ、金沢地方気象台の8月から10月までの北陸地方3か月予報では南米沖の海水温が低いことで起きる「ラニーニャ現象」などの影響で、暖かい空気に覆われやすく残暑が厳しいと予想されています。この期間は平年より気温が高くなりそうなので熱中症警戒アラートなどの情報に注意しながら、暑さ対策を心がけて過ごしましょう！

8月のイベント・行事

8/4 (木) 土用の丑の日(二の丑)
8/6 (土) 広島原爆の日
8/7 (日) 立秋
8/9 (火) 長崎原爆の日
8/11 (木) 山の日
8/13 (土)～8/16 (火) お盆
8/15 (月) 終戦記念日
8/23 (火) 処暑



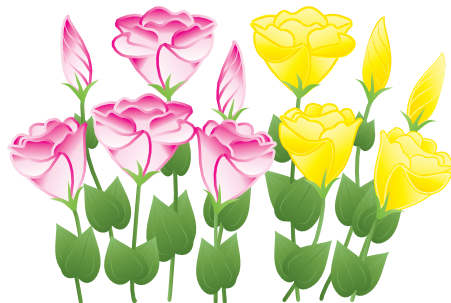
ノウゼンカズラ

花言葉・・・名声・名誉・栄光
由来・・・中国原産で平安時代頃に日本に渡りました。日本での植栽地は本州東北地方以南で日当たりと水捌けがよい肥沃地に生育しています。花や樹皮は漢方薬として用いられます。茎は長く伸び、付着根を出して他の物に吸着して壁などを這い上がります。ノウゼンカズラは花からたくさんの蜜を垂らす特徴があり、この蜜には「ラパコール」と呼ばれる成分が含まれていて、弱い毒性があるといわれています。蜜が手に付くとかぶれたり、目に入ると炎症を起こすことがある為、切り花にする際は、ご注意ください。

8/11(木) 山の日

山の日とは「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という趣旨の国民の祝日です。他の祝日とは異なり、山に関する特別な出来事など明確な由来があるわけではなく、「山の日」を国民の祝日にしようという様々な動きによってできました。日本の国土の6～7割が山地で、周りを海で囲まれている為、山や海に畏敬(いけい)の念を抱いて、自然の恵みに感謝しながら生活してきました。1995年に「海の日」が国民の祝日になると、山梨県をはじめ複数の府県で独自に山の日ができ、次第に「山の日」を国民の祝日にする運動が全国に広がりました。こうした動きを受けて2014年に「山の日」が制定され、2016年に施行となりました。8月11日になったのは、お盆の時期で休暇がとりやすかったということ、「八」の字が山の形にみえるため「8」、木が立ち並ぶイメージから「11」というふうに、山を連想させる数字として親しまれてきたことも一因のようです。「山の日」だからと登山をしなくても治体などで開催されているワークショップに参加したり、山里の散策や湧き水で打ったおそばを食べる。これらも山の恩恵なのではないでしょうか。

8月の花



トルコキキョウ

花言葉・・・優美・すがすがしい美しさ
由来・・・原産国はトルコではなく北アメリカで、キキョウの仲間ではなくリンドウ科です。名前の由来は「花やつぼみの形がトルコ人のターバンのようで、一重咲きの花の形がキキョウに似ていることや、原種の青色の花びらがトルコ石を連想させることなど諸説あります。日本へは1930年代に持ち込まれました。第二次世界大戦が終わった頃、他国のトルコキキョウは戦争の影響でほぼ絶えてしまいましたが日本では1960年代に品種改良が盛んになり、現在、流通しているほとんどの品種が日本原産となっています。



布袋葵(ホテイアオイ)

花言葉・・・揺れる心・恋の悲しみ
由来・・・南アメリカ原産ですがその高い繁殖力から今では世界各地で見ることが出来ます。現在では生態系を壊す、水の流れを滞らせる、漁業への悪影響を与えるなど「青い悪魔」と呼ばれて敬遠されてきました。ただ、家庭用としては丈夫で育てやすい植物で水草として育てられています。近年の研究で春～夏の成長期に水中の窒素成分を養分として吸収することによる水質浄化の効果が分かってきました。名前の由来は、葉っぱの付け根が浮袋の様に膨らんだ姿が七福神の布袋様のお腹に似ていることから名付けられました。

8月のレシピ 「なすとツナのコク旨そうめん」

【材料…2人分】

- ・そうめん 4束(200g)
- ・なす 2本(300g)
- ・ツナ缶(油漬け) 1缶(70g)
- ・刻み万能ねぎ 適量
- ・みょうが 適量
- ・そうめんのかけつゆ 2人分

- A
- ・めんつゆ(2倍濃縮)大さじ2
(3倍濃縮の場合は小さじ4)
(4倍濃縮の場合は大さじ1)
 - ・酒 大さじ1
 - ・砂糖 小さじ1

【作り方】

- ①そうめんは袋の記載通りにゆで、ざるに上げて流水ですばやく洗いしっかりと水気を切る。
- ②なすはヘタを切り落とし、長さ5cm程度のスティック状にカットする。
- ③フライパンにサラダ油をひき、②とツナ缶(油も全部)を加えて中火にかけ、なすがある程度しんなりするまで炒める。
- ④③にAを加えて調味し、なすがしんなりするまでしっかりと炒め、粗熱をとる。
- ⑤器に①のそうめんを盛り付け、かけつゆをかけて、④をのせ、刻み万能ねぎと細切りにしたみょうがをトッピングしたら出来上がり。



四万十にお住まいの「みやちゃん」さんの素敵なお料理ブログからレシピをご紹介します。
四万十住人の簡単料理ブログ
<http://shimanto-miyachan.blog.jp/>

ツナ旨味を吸ったなすがじゅわっと美味しい♪夏にピッタリそうめんレシピ♪



Instagram やってます。

\Follow Me !/

@hamahome2021



濱田工務店の facebook

お陰様にて無事に完成いたしました。残すは外壁の緑化を追加で致します。全て船に運び込み凡そ70トンの資材を運び込みました。多くの方々のご協力と、お力添えに感謝致します。幾つもの規制と場所の選定が上手にいかず、満足のいく建物には成りませんでした。それなりの建物となりました。お客様の感動と喜びが励みと成ります。ご満足頂きご利用下さる事を願います。・・・はい

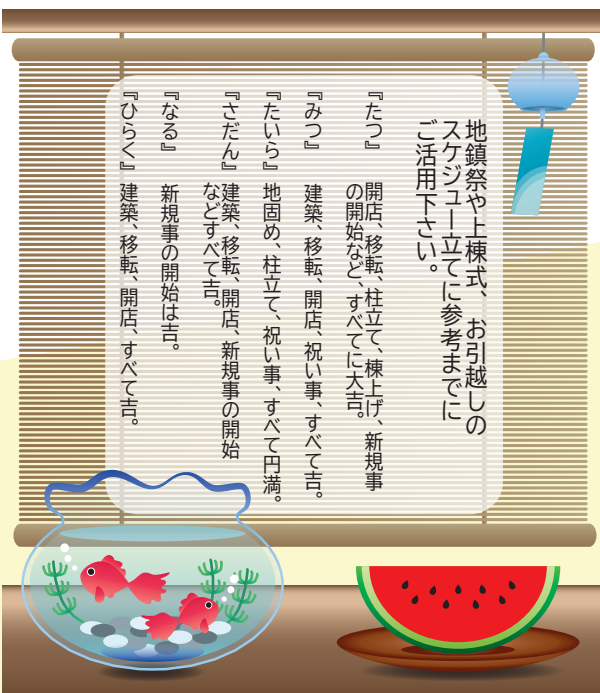


なるべく毎日更新中! <http://hama-home.jp/wp/>

2022年8月 建築吉日カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1 仏滅 建築吉日(たいら)	2 大安 建築吉日(さだん)	3 赤口	4 先勝 二の丑	5 友引	6 先負 広島原爆の日 建築吉日(なる)
7 立秋 建築吉日(なる)	8 大安	9 赤口 長崎原爆の日 建築吉日(ひらく)	10 先勝	11 友引 山の日 建築吉日(たつ)	12 先負	13 仏滅 建築吉日(みつ)
14 大安	15 終戦記念日 建築吉日(さだん)	16 先勝	17 友引	18 先負	19 仏滅 建築吉日(なる)	20 大安
21 赤口 建築吉日(ひらく)	22 先勝	23 友引 処暑 建築吉日(たつ)	24 先負	25 仏滅 建築吉日(みつ)	26 大安	27 友引 建築吉日(さだん)
28 先負	29 仏滅	30 大安	31 赤口 建築吉日(なる)			

※祝日は法律の改正により変更になる場合があります。



花火のあれこれ

夏の夜空を彩る花火ですが、なぜ日本では「夏の風物詩」なのか？由来や歴史、どんな種類があるのかなど調べてみました。

花火の歴史

花火のルーツはとても古く、紀元前3世紀の古代中国で火薬の基本となる硝石が発見されてからと言われていて、中国・秦の時代にシルクロードによって火薬が世界に伝わりました。日本に伝わったのは、16世紀・戦国時代で火薬を使う火縄銃とともに広まりました。鉄砲の他、合戦の合図の「のろし」として使われていた火薬が江戸時代によく観賞用の花火として使われるようになりました。日本煙火協会資料によると、戦国時代には伊達政宗や徳川家康が花火を観賞したという記録があるそうです。その後、江戸の大川端（東京・隅田川下流）周辺の諸大名に広まり、やがて庶民の間でも流行り花火師や花火売りが誕生しました。はっきりとした記録はありませんが、万治2年（1659年）大和の国（現在の奈良県）から江戸へでてきた弥兵衛（初代鍵屋）が葦の管の中に火薬を入れた初歩的なおもちゃ花火を考案して売り出したところ、江戸庶民に爆発的な人気を得たと言われています。当時は、鍵屋のような花火専門業者の花火は**町人花火**と呼び、大名らが配下の火薬職人に命じて作らせた花火は**武家花火**と呼ばれました。このようにとても人気のある花火でしたが、花火による火災が数多く発生してしまい、幕府は花火の種類や火薬の量花火の場所を隅田川下流のみに限定するなどの策を講じました。花火が出来る場所が限られたことで花火の人氣が衰えるかと思いましたが、その人氣は沈下することなく、隅田川にかかる両国橋の架橋をきっかけにその周辺が花火のメッカになりました。明治のはじめ頃には、西洋から塩素酸カリウムやストロンチウム、バリウムといった多くの薬品が輸入され、それまで炭火色といわれる橙色の強弱のみで表現されていた花火に新たな色彩が加わったばかりか明るさも大きく変化しました。これ以前の技術で作られた花火を**和火**、これ以降のものを**洋火**と言い分けることもあるそう。新たな彩色光剤を得たことで日本花火の歴史上最大の躍進の時期を迎え、世界一といわれる日本花火の基礎がつけられました。順調に技術を発展させていった花火ですが、昭和に入り日中戦争など戦火の拡大によって隅田川の川開き花火も1937年に中止となりました。第二次世界大戦敗戦後の1945年9月に長野市の諏訪神社で花火を上げたところ、翌10月に連合国軍総司令部（GHQ）により火薬製造が禁じられましたが、日本花火製造業者の粘り強い説得により1948年8月1日に両国川開きの花火大会が復活しました。この時の打ち上げ許可量は僅か600発でしたが、平和な時代を象徴する大輪の華に70万人の観客があったそう。その後、日本の花火は海外へ多く輸出されるようになりました。

夏の風物詩の由来

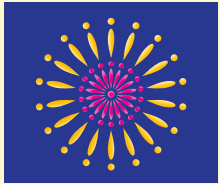
1700年代、全国で凶作になった他、江戸で伝染病が大流行し大勢の人が亡くなってしまいました。そこで八代將軍・徳川吉宗が悪疫退散祈願と犠牲者の供養のために行ったのが「水神祭」です。水神祭は隅田川の川開きに合わせて両国橋周辺で実施され、この時に上がった花火「両国川開き花火」が現在の「隅田川花火大会」のルーツとなりました。これを機に夏の恒例イベントになり、やがて全国でも花火大会が実施されるようになったことで夏の風物詩と呼ばれるようになったよう。

花火の種類

打ち上げ花火は、大きく分けると「**割物（わりもの）**」と「**ポカ物**」に分類されます。割物は、花火玉が破裂した時に**星**が球状に飛び散るどこから見ても丸い代表的な花火です。さらに、上空で小さな花火が多数開く「小割物」もあります。ポカ物は、上空で花火玉がぐす玉のように「ポカッ」と二つに割れて**星**や仕掛けが飛び出し、落ちていきます。形や色など多様な表現が可能です。

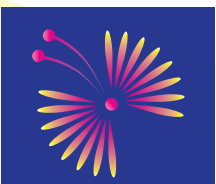
※星とは、空中で光る火薬の粒のこと

菊（きく）割物



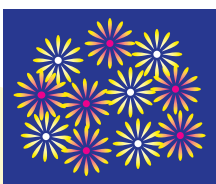
花火の伝統技術の粋を集めた花火。スーッと星が尾を引きながら放射状に飛び散って菊花の紋を描きます。花びらの先が変化するのは「変化菊」と呼ぶ。

型物（かたもの）割物



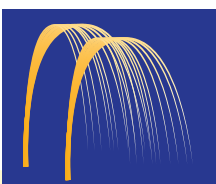
光の点や線でハートや笑顔、蝶、土星など様々な形を描く花火です。球状ではなく平面の花火なので開いた時の向きによって線にしか見えないこともあります。

千輪（せんりん）小割物



花火玉が上空で割れた時、中に詰めた小玉が一瞬遅れて一斉に開く花火です。いくつもの小さな花が開きます。

柳（やなぎ）ポカ物



花火玉が割れると上空から柳の枝が垂れ下がるように光が落ちてくる花火です。最近では彩色柳など様々な色の柳があり、落ちてくる時に色が変わるものもあります。

蜂（はち）ポカ物



花火玉が割れた時に、火薬を詰めた星がシュルシュルと回転しながら不規則に飛び回る花火です。その動きはまるで蜂が飛び回っているように見えます。

立秋

8月7日頃



立秋（りっしゅう）の頃、毎日暑い日が続きますが、お盆明けには秋の気配が少しずつ感じられます。この日から、季節の挨拶も暑中見舞いから残暑見舞いに替わります。

涼風至 すずかぜいたる 8/7～8/11頃

夏の暑い風から、秋の涼しい風に替わりはじめる頃。まぶしく輝いている太陽も日射しを和らげ、夕方に鳴く虫たちの音色も涼しさを演出してくれます。

寒蝉鳴 ひぐらしなく 8/12～8/16頃

夏の終わりを告げるかのように、ヒグラシが鳴いている頃。ヒグラシは日の出前や日没後によく鳴き、終わってしまう夏を惜んでいるかのように聞こえます。

蒙霧升降 ふかききりまとう 8/17～8/22頃

森や水辺に白く深い霧がたちこめる頃。朝夕のひんやりとした心地よい空気の中、深い霧が幻想的な風景をつくりだします。

風鈴（ふうりん）

風が吹くたびにちりんちりん和涼やかに鳴る風鈴の音は、耳にするだけで涼しく感じるので不思議です。夏の風物詩の風鈴はいつごろ、どのように生まれたのかご存じでしょうか？唐の時代、中国で占風鐸（せんふうたく）という占いがあり、竹林の東西南北に風鐸という青銅でできた鐘のようなものを吊るして、風の向きや音で吉凶を占っていました。この風鐸が仏教とともに日本に伝わったのがもとになったようです。当時の日本では、強い風は流行り病や邪気などの災いを運んでくると考えられていて、風鐸はその音が聞こえる範囲が聖域とされ、災いから守ってくれるものとしてお寺の軒先の四隅に吊るされるようになったそう。平安時代には、貴族が魔除けとして軒先に吊るすようになり、この頃から「風鈴」と呼ばれるようになったとされています。江戸時代には長崎を通して西洋のガラス文化が入ってきて、ガラスの風鈴が作られましたが、初期の頃は材料費が高く現在の200～300万円もしたそう。時が進むにつれ、ガラスの価格も下がり、庶民の手が届くようになり、縁側に吊るして楽しめるように。また、夏の終わりから秋にかけて鈴虫を飼うときには風鈴を仕舞うので、「風鈴は夏のもの」という風習が生まれ、夏の風物詩となったようです。現代では縁側のない住まいが多いので、玄関内に吊るしたり、エアコンや扇風機の風を利用してカーテンレールに吊るすと良さそうです。風が強すぎて割れたり、音が強すぎることもあるので自然の風で楽しむ場合も室内に吊るす方が安全です。不在の時や夜間は戸締りを忘れないように注意して下さいね(“ω”)

住宅建築 まめ知識

今回のテーマは

躯体検査

次回のテーマは…気密測定

躯体検査とは、第三者機関 JIO（国土交通大臣指定（株）日本住宅保証検査機構）による検査のことで、上棟後の構造・躯体（柱、筋交い、梁、金物等）の検査をいいます。建物を守る骨組みは見えなくなってしまうところなので、基礎の配筋検査と並んでとても重要です。土台、柱、梁、筋交い、構造面材などやそれらを接合する金物など検査をする項目は多岐にわたりますが、それらを JIO 専属の建築士が細かくチェックします。家を支える柱や体力壁の位置は図面通りか、横揺れを防ぐ筋交いは図面通り配置され適正に取り付けられているか、木材の水分は25%以下になっているか（木造在来工法の場合）など通常一般の人では分からないチェックポイントを申請図面と現場の施工が合っているか図面と照らし合わせながらしっかりと検査します。第三者機関による厳しい検査で施主様も安心です。

編集後記



毎日とっても暑いですね！皆さん体調崩したりしてないでしょうか？私は冷房で冷えるためか、夕方になると足がむくんでダル重です。血行が悪いからですかね(人_人) 休みの日も家にこもってるので暑い以外に夏らしさを感じる事が少ないですが、今年は何年か振りにあちこちでお祭りや花火大会が開催されていますね。自宅からは花火は見えませんが、ドンドン！という音が聞こえてちょっと懐かしく感じました。コロナの感染者数が過去最高数を更新して、なかなか大変な世の中ですが、涼やかな音色の風鈴を吊るして悪疫退散を祈願しようかなと思います(´-`*)~~~~♪♪

